

施策評価シート（平成28年度実施分）

基本姿勢	3	にぎわいを創る「交流のしま」
政 策	3	歴史、伝統文化を守り、活かし、伝えるまちづくり
基本方針	地域の歴史と文化を大切にし、伝統、文化の保存継承に努め、郷土に対する愛着や誇りを持てる環境の整備と文化活動の支援に努めます。	

基本施策	3-3-①	歴史・文化の保存伝承
主管課名	文化財課	所属長名 湯 川 直 基
関係課名		
	基本施策の評価	
	<p>○歴史・文化の保存・継承と有効活用、文化財愛護意識の高揚</p> <p>■平成27年度における課題等に対する取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の保存・継承への支援体制の充実と新たな保存・継承システムの構築に努める。 <p>■平成28年度取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先人が守り育ててきた地域伝統行事（無形民俗文化財、伝統芸能等）を継承する団体を支援するとともに「文化財保護強調週間」「文化財防火デー」を通じて地域住民と協力した文化財保護活動を行った。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財については、保存・継承のための支援体制は整いつつあるが、少子、高齢化により、地域の中で保存・継承する人材の確保が困難になっている。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史・文化を継承する人材の確保、継承できるシステムを構築する。 	
	<p>○子どもたちへの学習機会の充実</p> <p>■平成27年度における課題等に対する取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育で継続した学習機会の確保を目指していく。 <p>■平成28年度取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内小中学校の歴史・文化学習へ講師派遣を行った。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちへの学習機会の提供回数の増加、学習内容の充実は図られてきたが、限られた地域、学校での実施であり、町内全ての児童・生徒へ学習機会を提供できる環境整備が必要である。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度「頭ヶ島の集落」が世界文化遺産登録が予定されているなか、町内児童・生徒が町内文化遺産を学ぶシステムを構築する。 	
	<p>○貴重な文化財の適正な保存・活用、必要に応じた修復などの適切な管理</p> <p>■平成27年度における課題等に対する取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所有者への支援体制の充実と計画的な保存・修理計画の策定に努める。 <p>■平成28年度取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町指定文化財の適正な保存のために修復工事（鯛ノ浦教会、子施様）の支援を行った。 ・町指定文化財周辺整備及び案内板の修繕を行った。 ・本町出身建築家鉄川與助氏の教会堂関係図面の保存・修理を行った。 	

1 次評価

■評価（問題点とその要因）

・町内文化財の所有者に保存活用のための修復工事の支援、町所有文化財の保存修理を計画的に実行できる体制が整い、修理できたものから公開することができた。しかし国、県指定の文化財（教会堂）については、建築から100年が経過して耐震を含めた改修時期がきているが、財源確保が厳しく計画策定には至っていない。

■今後の取組方針

・文化財を適正に管理していくための新しい計画の策定と財源確保に努める。

○展示・歴史資料の適正な収集・保存・活用と歴史・文化財に関する効果的な情報発信、学ぶ機会の提供と観光資源としての活用

■平成27年度における課題等に対する取組方針

・引き続き歴史資料の収集・保存・整理に努め、資料を活用した情報発信、観光振興について町全体で取り組むシステム構築に努める。

■平成28年度 of 取組概要

・鯨賓館ミュージアムを中心に歴史資料の収集、保管、展示の充実に努めた。また効果的な情報発信を行うため、映像ソフトの作成、港ターミナル内に町の歴史案内板、展示ケースの設置、文化財課活動報告書を刊行した。

・町民を対象としたゼミ&さるく、ストーンフェスタ等のイベントを開催した。

・郷土芸能大会（神楽大祭）を開催して伝統文化の情報発信を行った。

■評価（問題点とその要因）

・歴史資料の収集・保存・整理に努め、有川港ターミナル（鯨賓館）を中心に町の歴史・文化を情報発信できるシステムを構築することができたが、情報を活用できる人材の育成、学ぶ場の提供などに課題がある。観光資源としての活用は、関係機関と協議を行っているが十分な成果があがっていない。

■今後の取組方針

・引き続き歴史資料の収集・保存・整理に努め、資料を活用した情報発信、観光振興について町全体で取り組むシステム構築に努める。

○遣唐使遺跡、古墳群、寺社、教会などの歴史や文化資源を調査し、その文化的価値を明らかにするとともに、適切な保存のあり方や活用方法を検討

■平成27年度における課題等に対する取組方針

・専門家による調査を行い、新たな文化遺産の掘り起こしとストーリーとしてまとめ町づくりに活用する。

■平成28年度 of 取組概要

・町内「日本遺産」（構成文化財山王山、日島の石塔群）を専門家により調査するとともに講演会とバスツアーを開催して新たな活用を探った。

■評価（問題点とその要因）

・日本遺産をはじめ町内の文化遺産は、まだまだ認知度が低く、更なる魅力発信（情報発信）に努めなければならない。

■今後の取組方針

・町内歴史・文化遺産の調査を深め、文化的価値を高め、適切な保存・活用に努める。

○世界遺産登録を目指している構成資産「頭ヶ島天主堂」をはじめ、「青砂ヶ浦天主堂」や「大曾教会」、「江袋教会」など、キリスト教の伝播と復活の歴史を支える大切な資産としての保存整備の推進

■平成27年度における課題等に対する取組方針

・平成30年度世界遺産登録を見据えて構成資産及び関連指定文化財保存整備計画の見直しを図る。

	<p>■平成28年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界文化遺産登録を目指して、イコモスの指摘により、構成資産を「頭ヶ島天主堂」から「頭ヶ島の集落」へ変更した「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産登録を目指して調査・研究を深めると共に世界遺産候補「頭ヶ島集の集落」については、環境の保全に努め、パーク&ライド、インフォメーションセンター整備、祈りの島保全員の配置など受入体制の充実を図った。他の指定文化財の教会堂については、日頃より巡回を行い、地元関係者と連携しながら文化財の保存に努めた。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成資産変更にもなう調査・研究により価値の充実を図ることができたが、保存整備計画の変更が必要となり、環境保全のための新たな問題が発生した。 ・他の町内キリスト教関連遺産については、祈りの場として利用されており、所有者の文化財的な保存整備についての理解が難しい。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度世界遺産登録を見据えて構成資産及関連指定文化財の保存整備の充実を図ると共に所有者と協力した保存整備に努める。 		
2次評価	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産登録実現に向けて県、関係市町と一体となって各種体制・整備など準備を進めていくこと。また、文化財の指定や保護、保全のための支援を引き続き行い、文化財を活用した地域の活性化に努めていくこと。 		
基本施策	3-3-②	芸術文化活動支援・充実	
主管課名	生涯学習課	所属長名	宇戸 佐一郎
関係課名			
1次評価	基本施策の評価		
	<p>○文化芸術に触れる機会の創出（優れた芸術文化を鑑賞する事業や町民文化祭の開催など町民参画型の文化事業の実施）</p>		
	<p>■平成27年度における課題等に対する取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県・その他関係団体と協力し、生の文化芸術に触れる機会を創出する。 <p>■平成28年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館、小中学校において生の芸術にふれる機会の提供を行った。 青少年劇場「劇団たんぽぽ」：魚目・北魚目小学校 ・五つ星こども劇場 ・笑いで町おこし「新上五島町寄席」：鯨賓館 ・「学校寄席」：若松中学校 ・山口修&純子コンサート：今里小、小串公民館 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離島であることから、生の芸術にふれる機会が少ないうえ、予算も限りがあるため十分な提供が行えていない。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、県・その他関係団体と協力し、生の文化芸術に触れる機会を創出する。 		
	<p>○文化団体や自主的な芸術文化、地域伝統文化活動を活性化するための支援</p>		
<p>■平成27年度における課題等に対する取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続して文化協会中心に補助をし、その他関係団体の活動も支援する。 			
<p>■平成28年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度も町文化協会へ活動費を助成し、町文化祭の開催や活動発表の支援を行った。 			
<p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動団体構成員の高齢化のため活動が縮小しているとともに団体の存続が危惧される。 			

	<p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、文化協会中心に助成を行うとともに、その他関係団体の活動も支援する。 <p>○青少年の文化活動への参加機会の推進、文化事業を支援する人材の育成</p> <p>■平成27年度における課題等に対する取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが自然や歴史・文化に関心を持てるプログラムを提供することで、地域の文化に目を向けてもらえるような仕組みづくりや各種団体などとの連携を進め、文化活動への支援、育成に努めていく。 <p>■平成28年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年の文化活動の活性化を図るため、有川小学校コーラス部に対し、活動費を補助した。有川小学校コーラス部は9月に佐賀市で開催された「九州合唱コンクール」において『銀賞と審査員特別賞』受賞するなど文化活動の充実が図られた。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化の影響によりスポーツ・文化ともに活動の縮小が懸念されるが、九州大会に出場し賞を受賞できたことは取組みの成果があった。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の文化に目を向けてもらえるような仕組みづくりや各種団体などとの連携を進めるとともに、引き続き活動団体の育成と支援に努める。 		
2次評価	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの頃から伝統文化や芸術文化に親しむことができる事業の充実など、興味関心を高めてもらい、次世代を担う人材育成につなげていくこと。また、各芸術、文化活動のイベントなど、各種団体が主導となり住民ニーズに応じて充実させていくこと。 		
基本施策	3-3-③	文化的景観の整備・活用の推進	
主管課名	文化財課	所属長名	湯川直基
関係課名			
	基本施策の評価		
1次評価	<p>○地域の特性を活かした景観まちづくりの推進（象徴的な建造物の保存やその周辺の良好な景観の保全及び創出）</p> <p>■平成27年度における課題等に対する取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度に実施設計、平成29年度に整備工事を行い、平成30年度に文化的景観インフォメーションセンターを開設する。運営にあたっては、地域住民に参画してもらうため、地域説明会や意見交換会を実施する。 <p>■平成28年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化的景観の価値を来訪者に広く周知するための施設として、頭ヶ島白浜集落の空き家を活用した文化的景観インフォメーションセンター改修工事の実施設計を行った。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落景観の阻害要因となっていた空き家を活用し、集落景観にマッチした改修工事を行う予定であるため有効活用ができていると判断する。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度及び平成30年度で建築工事、電気設備工事、機械設備工事、外構工事を実施し、平成30年7月をめどに開設する。また、運営にあたっては、地元住民に参画してもらうため、地域説明会や意見交換会を実施する。 		

○重要文化的景観の適正な保存と整備活用

■平成27年度における課題等に対する取組方針

・文化的景観区域内で実施する事業については、景観に配慮した事業の推進を行うため、関係課、関係団体に周知を行うことで事前把握を行い、理解を得ながら事業の推進に努めていく。

■平成28年度 of 取組概要

・文化的景観区域内における事業を年度当初に把握し、景観形成基準を基に事業担当課、関係事業所に理解を得ながら景観に配慮した事業の推進を行った。

■評価（問題点とその要因）

・文化的景観整備活用計画に記載されている行為届出及び景観形成基準に基づき事業の推進を行っているが、事業が多岐にわたっているため詳細な基準設定が必要になっている。

■今後の取組方針

・文化的景観整備活用委員会で意見、助言等をいただきながら文化的景観整備活用計画を基に事業の推進に努めていく。

2次評価

・重要文化的景観の保護と歴史・文化の価値を伝えていくための情報発信や活動の支援など、地域住民、関係団体と連携して取り組んでいくとともに、町全域の景観保全については、町景観計画の基本理念に沿って、引き続き、計画の目標に向け、関係団体と連携しながら推進に努めていくこと。

成果指標等の達成状況

指標名		基準値	H27	H28	H29	H30	H31
文化財の整備・保存数	目標	-	-	3箇所	4箇所	4箇所	5箇所
	実績	3箇所	3箇所	2箇所	-	-	-
	達成率	-	60% (60%)	66.7% (40%)	-	-	-
民俗芸能団体の組織化	目標	-	-	-	1団体	1団体	1団体
	実績	-	0団体	0団体	-	-	-
	達成率	-	0% (0%)	0% (0%)	-	-	-
町民主導による音楽祭の開催	目標	-	-	-	1回	1回	1回
	実績	-	0回	0回	-	-	-
	達成率	-	0% (0%)	0% (0%)	-	-	-

施策事業の進捗状況

3-3-① 歴史・文化の保存伝承

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度	
1	<p>(事業名) 指定無形文化財保存会活動費補助事業</p> <p>【文化財課】</p> <p>(事業目的) 町内に残る伝統文化を町の宝としていくために、指定無形文化財の継承、保存を図ることを目的としている。</p> <p>(事業概要) 指定無形文化財保存会へ活動費を補助し、支援を行う。</p> <p>町指定無形文化財 1.青方念仏踊り 2.青方石づき唄 3.みんかけ 4.鯨唄・羽差し踊り 5.鯛ノ浦薙刀踊り 6.十七日祭り 7.江ノ浜念仏踊り 国指定無形民俗文化財 1.五島神楽(上五島神楽) 郷土芸能団体 1.若松亥の子保存会</p>	実施年度	平成17年度～		
		成果指標	伝統芸能(無形文化財)の記録保存件数		
		目標値	9件	9件	
		実績値	0件	1件	
		達成率	0.0%	11.1%	
		決算(見込)額	1,112千円	2,056千円	
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、伝統芸能(無形文化財)の記録保存件数を5年間で9件にすることとしており、保存会活動の活性化を促すことにより、保存・伝承団体の減少を防ぐ。		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績)	町指定民俗文化財及び郷土芸能団体への活動費を助成した。 町指定無形文化財5団体(青方念仏踊り48千円、鯛ノ浦薙刀踊り35千円、十七日祭り850千円、江ノ浜念仏踊り35千円、上五島神楽114千円) 郷土芸能保存会1団体(若松亥の子保存会30千円)	町指定民俗文化財及び郷土芸能団体への活動費を助成した。 町指定無形文化財6団体(青方念仏踊り48千円、鯛ノ浦薙刀踊り35千円、十七日祭り850千円、江ノ浜念仏踊り35千円、上五島神楽614千円、有川神楽保存会474千円)
			(成果・課題等)	多くの団体が町補助金と郷や地域住民からの助成等で活動を行っているのが現状である。自己資金に乏しいため、突発的な事業には対応できていない。	ほとんどの団体が町補助金と郷や地域住民からの助成等で活動を行っており、活動資金の確保に苦慮している。資金不足は否めず、充実した活動が懸念される。
		2	<p>(事業名) 文化財保存整備事業</p> <p>【文化財課】</p> <p>(事業目的) 文化財を守り、伝え、活かすという基本方針のもと、貴重な町民の財産である文化財の保存・伝承・及び活用の充実を図る。</p> <p>(事業概要) 町内の文化財の保存・修繕や文化財案内板の修繕等の環境整備、及び文化財を活用した学習機会の提供や小・中学校における町の歴史・文化を伝える出前講座を行う。また、指定文化財保存団体や郷土芸能団体等に対して活動費の助成を行う。</p>	実施年度	平成28年度～
成果指標	文化財の整備・保存件数(年間)				
目標値	-			5件	
実績値	-			2件	
達成率	-			40.0%	
決算(見込)額	-			2,273千円	
成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、文化財の整備・保存数【年間】を3件(H26)から5年間で5件にすることを重要業績評価指標(KPI)として設定している。				
取組実績、成果・課題等	(取組実績)			-	・修繕等については定期的に巡回を行い、破損等の早期発見に努め重篤化を防いだ。 ・指定文化財保存団体や郷土芸能団体等に対して活動費の助成を行い、町の伝統文化の振興を図った。 ・建築家鉄川與助に係る図面等の保存修理を行った。
	(成果・課題等)			-	文化財案内板について、観光案内板と重複したり破損しているところがある。

3-3-② 芸術文化活動支援・充実

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
1	<p>(事業名) 文化振興委託事業 【生涯学習課】</p> <p>(事業目的) 町内の文化活動の推進を図るため、住民が企画・立案・実施できる機会を設け、住民参加型の文化活動の推進を図るとともに、生の芸術に触れることにより、豊かな情操教育並びに、住民の生活に潤いを感じられるような文化の提供を行う。</p> <p>(事業概要) 文化事業の推進を図るため、こども芸術劇場、青少年劇場の公演や文化委託事業を実施</p>	実施年度	平成17年度～	
		成果指標	民間主導による音楽祭の開催	
		目標値	1回	1回
		実績値	0回	0回
		達成率	0%	0%
		決算(見込)額	2,192千円	2,021千円
		成果指標及び目標値の説明	総合計画の成果指標として設定している。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・劇団たんぼぼ「赤ガラス大明神」公演 ・五つ星☆子ども劇場「ぼくピンチなんです！」公演 ・笑いで町おこし「新上五島町寄席」公演 ・学校寄席(魚目中) ・山口修&純子コンサート(上郷小、旧新魚目児童館) <p>(成果・課題等)</p> <p>住民主導で開催してもらうために、関係者等の意見とニーズを反映し事業を行っていく必要がある。</p>	<p>(取組実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・劇団たんぼぼ「赤ガラス大明神」公演 ・五つ星☆子ども劇場「昔ばなしのさんさん劇場」公演 ・笑いで町おこし「新上五島町寄席」公演 ・学校寄席(若松中) ・山口修&純子コンサート(今里小、小串公民館) <p>(成果・課題等)</p> <p>住民主導で開催してもらうために、関係者等の意見とニーズを反映し事業を行っていく必要がある。</p>		

3-3-③ 文化的景観の整備・活用の推進

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
1	<p>(事業名) 世界遺産登録事業 【文化財課】</p> <p>(事業目的) 長崎・熊本県及び関係6市2町が共同で「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」(旧「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」)の2018年の世界文化遺産登録を目指すことで、資産の歴史的文化的な価値を後世へ継承するための万全な保護体制の整備や全世界への情報発信及び交流人口の拡大による地域活性化に繋げる。</p> <p>(事業概要) 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」(旧「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」)の世界文化遺産登録を目指し、構成資産に含まれている「頭ヶ島の集落」の歴史的文化的な価値付けと保存体制及び来訪者受入れ体制の整備を行い、世界文化遺産へ登録する。</p>	実施年度	平成20年度～	
		成果指標	世界遺産登録資産数	
		目標値	1件	1件
		実績値	0件	0件
		達成率	0%	0%
		決算(見込)額	14,527千円	4,244千円
		成果指標及び目標値の説明	平成30年の世界遺産登録を目指す。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>「長崎の教会群」の推薦書作成、頭ヶ島天主堂の保存管理計画策定、歴史的文化的な価値付けのための調査、秩序ある教会堂の公開のための保全員配置、全国へ向けた情報発信。</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>平成28年7月の世界遺産委員会で登録の可否が審議される予定であったが、イコモスの指摘により国が推薦を取り下げ、再度推薦書の見直しを行うこととなった。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>推薦取り下げによる再推薦書の作成、価値付けのための調査、秩序ある教会堂の公開のための保全員配置、島内外への情報発信、イコモス現地調査へ向けた準備。</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>推薦が一旦取り下げとなったが、推薦書の見直しにより世界文化遺産の国内候補として再推薦され、平成30年度登録へ向け前進した。</p>		

3-3-③ 文化的景観の整備・活用の推進（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
2	<p>(事業名) 祈りの島インフォメーションセンター設置事業 【文化財課】</p> <p>(事業目的) 平成30年7月頃の世界遺産登録を見据え、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の歴史的文化的な価値を正確に伝え、将来に向けて適切な保存・活用を図るため上五島空港ターミナルを活用し”潜伏キリシタン関連遺産”サテライト整備を行う。</p> <p>(事業概要) 上五島空港ターミナルを改修し、”潜伏キリシタン関連遺産”サテライトとしての施設整備、展示、案内等を行う。</p> <p>※当分の間は、重要文化的景観をメインに展示・案内し、徐々に潜伏キリシタン関連遺産の展示・案内へシフトしていく。</p>	実施年度	平成27年度～	
		成果指標	事業進捗率（％）	
		目標値	100%	100%
		実績値	100%	100%
		達成率	100%	100%
		決算（見込）額	7,453千円	9,472千円
		成果指標及び目標値の説明	事業が完了することにより「長崎の教会群」の価値を来訪者へ正確に伝えていくための基盤整備が図られるため、事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	計画どおり設置した。	(取組実績) 名称を”祈りの島インフォメーションセンター”とし、重要文化的景観の展示、案内を中心に運用した。	
	(成果・課題等)	世界遺産のサテライトとして設置したが、世界遺産登録が先送りとなったため、当分の間名称を変更し運用することとなった。	(成果・課題等) 重要文化的景観の展示、案内を中心に情報発信しているが、今後、世界遺産サテライトへシフトしていく。	
3	<p>(事業名) 日本遺産魅力発信推進事業 【文化財課】</p> <p>(事業目的) 平成27年4月24日に認定された日本遺産「国境の島 壱岐・対馬・五島」を活用して、新上五島町の新たな観光資源として魅力情報発信を行っていく。</p> <p>(事業概要) ・日本遺産関連資産（山王山と遣唐使関連史跡）の研究と報告書作成 ・日本遺産ルートサインの整備 ・日本遺産に関する情報発信及びツアー開催等による観光客の誘致</p> <p>経費については、日本遺産「国境の島」推進協議会・新上五島町部会において支出している。</p>	実施年度	平成27年度～	
		成果指標	観光客延数（年間）	
		目標値	287,000人	287,000人
		実績値	273,545人	261,522人
		達成率	95.3%	91.1%
		決算（見込）額	1,860千円	481千円
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、本事業を含む観光振興事業等を実施することで、観光客延数【年間】を242,078人（H26）から5年間で287,000人にすることを重要業績評価指標（KPI）として設定している。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	・有識者による「日本遺産」関連史跡の調査報告書「五島海道」の発刊200冊 ・各史跡ごとに日本遺産ルートサインの設置6基 ※日本遺産「国境の島」推進協議会で実施（町の支出額はなし）	(取組実績) ・「日本遺産」関連史跡（山王山・日島の石塔群）に関する調査研究と調査報告書の増刷 ・日本遺産「国境の島」講演会と山王山トレッキング、日島歩きによる魅力発信	
	(成果・課題等)	世界文化遺産と比べて「日本遺産」の認知度が低いため、まずは町民の認知度向上が必要である、そのためにも町民向けの「日本遺産」講演会や歴史散策ツアーを開催して、町民の認知度アップを目指し、そこから観光客の誘致に繋げていく。	(成果・課題等) 【成果】①調査報告書「五島海道」の増刷 200冊 ②日本遺産「国境の島」講演会と山王山トレッキング（145名）、日本遺産「国境の島」日島歩き（39名） ③「日本遺産」に関する調査研究 【課題】「日本遺産」の認知度アップ	